



上段右:FUKUYAMA MONO SHOPではデニム商品を販売

上段左:デニムの製作工程

下段右:デニムのイトグチのメンバー

下段左:福山のデニム生産量は全国シェアの約8割



◀デニムのイトグチの情報はこちらから

Instagram



うとデニム産業に関わる若手の有志を中心に結成されたプロジェクトチームが「デニムのイトグチ」である。

昨春頃から結成へ向けて動き出し、今年3月から本格的な活動に入った。当初から関わる森年木綿子さん(カイハラ(株)勤務)は「入社してから福山がデニムの産地であることを知った」と打ち明ける。

「もっと多くの人に知つてほしい」といろいろな人に声を掛け、プロジェクトの立ち上げにこぎ着けた。

運営の中心となつて活動する湯浅遼太さんもその一人。大分県出身でデニムが好きすぎて大学を休

学しデニムの産地へ。そのまま退

学し、現在は山野町で藍の栽培か

ら染色までを一貫して行つている

「藍屋テロワール」で働いている。

「作る側の視点からデニムの魅力を伝えたい」と意気込む。

「デニムの素材は幅広い」とその

魅力を語る前田陽さんが勤務す

る(株)ディスカバーリングセ

クト「HITO TOITOITO(ヒト

イト)」が主催するデニムスクール

と連携し、ワーケーションプログ

ラムを実施している。

一方で、福山がデニム的一大産

地であることを知る市民は意外に

少ない。そこで、その魅力を伝えよ

うとデニムのイトグチは、毎月開催の若手交流会

「Warp and Weft」

を開催。戸板一平さんによると、商品の半分以上がデニム関連商品だと。ウエアに限らず、

シュー、バッグ、ネクタイ、各種

小物類など幅広い商品群となつて

いる。

百貨店内に地域のセレクト

ショップを構えることは全国的に

珍しいが、同ショップは福山で

新商品を並べるなど、来店者に

飽きられないショップづくりを心

掛ける。

瀬戸内圏内約50社と取引がある

同ショップ。「オリジナル商品は

デニムが多い」とか。シーズンごと

に新商品を並べるなど、来店者に

飽きられないショップづくりを心

掛ける。

戸板さんは「福山のものづくり

企業にとってもショップがあるこ

とが大事」と長く続けることを目

標に掲げる。

産業、文化、史跡、食など福山が誇る地域資源にスポットを当てる紹介する「福山の宝探し」の連載七回目です。今回は福山が生産日本一を誇る「デニム」を取り上げます。

デニムといふと、まず岡山県の児島工エリアが頭に浮かぶかもしれないが、実は素材としてのデニムの生産量は、福山が全国シェアの約八割を占める一大産地なのです。

そんなデニムの魅力に惹かれた若い人たちが手を取り合ひながらプロジェクトチームを結成。情報発信や継承活動に取り組んでいます。



福山の宝探し 07 福山デニム

福山は繊維産業が盛んだが、遡ると福山藩祖・水野勝成に行き着く。勝成は新たな産業を興そうと、領民に綿の栽培を奨励。やがて日本三大紺の一つ「備後紺」が生まれ、それに伴い生地を織つたり、縫つたり、染める技術が発達した。福山のデニム産業にはそうした歴史的背景がある。

福山市は福山を含む備中備後地域がデニムの一大産地であること

に着目し、都市ブランド戦略の一環として「備中備後ジャパンデニムプロジェクト」を立ち上げ、認知度を高める活動を通じて地域と産業の活性化を目指す取り組みを開いている。

官だけでなく民間の活動の一つに挙げられるのが、2020(令和2)年に天満屋福山店5階にオープンした「FUKUYAMA MO NO SHOP」だ。

山陽染工(株)が運営し、地域のもつくり企業によるオリジナル商品を数多く展示販売している。オープン時からゼネラルマネージャーを務める戸板一平さんによると、商品の半分以上がデニム関連商品だと。ウエアに限らず、

シュー、バッグ、ネクタイ、各種

小物類など幅広い商品群となつて

いる。



粉体塗装専門ファクトリー

・各種金属製品への粉体塗装・建築金物製作請負
・グラデーション粉体塗装・特カラーハイブリッド

SIRIUS CO., LTD.

有限公司シリウス
本社/粉体塗装工場
721-0953 広島県福山市一文字町14-34
T 084 961 4300 F 084 961 4310
www.sirius-jp.net

CYUON

東京 OFFICE (CYUON)
151-0041 東京都渋谷区恵比寿2-28-10
T 03 3457 9653
www.cyuron.com



POWDER COATING FACTORY